価の引き上げを求めていたが、取引量が多い自動車部品向けを中心に値上げが遅れている。旺盛な需要による品薄感で値上げを実現しやすいとみた。自動車部品メーカーなどの製造コストを押し上げそうだ。

拡大で品薄感

材は自動車やトラックといった部品に幅広く使う鋼材のほか、炭素量を増やした特殊鋼で造る。強度の高い特殊鋼は、自動車エンジン周辺部のクランクシャフトやステアリングといった重要な部分に使う。

新日鉄住金は16年秋以降、17年6月まで原料炭の価格上昇などを理由に3回値上げを打ち出してきた。表明額の合計は1トン2万5千円。今回は用途や商流を問わず、現在の販売価格から1トン1万円以上引き上げる。自動車向けの特殊鋼製品で1割の値上げになる。

これまでの値上げは問

好調だ（新日鉄住金製鉄所）

▼棒鋼・線材　棒鋼は直径20～400ミリ程度でバー状の鋼材。電炉が造る異形棒鋼はほぼ建築向けなのに対し、自動車部品向けが多い。線材は直径5～50ミリ程度でコイル状に巻き取った形で製鉄所から出荷する。鉄鋼業界では両品種を棒線と総称する。

9割近くが需要家が直接購入する「ひも付き契約」だ。用途は幅広く、つり橋のケーブルやタイヤの補強材であるスチールコード、ネジ、ボルトなどに加工する。

害ほとた　多数を占める

自動車や建機の部品メーカーといった需要家への直接販売分は、部分的な浸透にとどまる。

新たな値上げの背景に

の拡大で　国内外で自動車生産は伸びている。日本の部品メーカーによる輸出も好調で「引き合いが活発だったリーマン・ショック直前を超える需

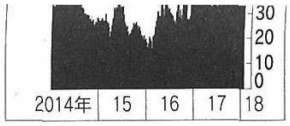
鋼を中心に乏しい。メーカーは既にフル操業の状態が続く。供給日程を優先して製造することで同じ規格の製品をまとめて

緊急対応で増加する輸送費も事業採算を圧迫しているという。

主原料も値上がり傾向だ。鉄鉱石のスポット（随

1トン200ドル台前半で同3割程度高い。「原料動向次第で、さらなる値上げもあり得る」（棒線営業部）としている。

投機マネー 同 需要上振れ期待



欧米の原油先物市場で投機資金による買い越しが拡大している。ニューヨーク市場のWTI（ウエスト・テキサス・インターミディエート）原油先物の買い越し幅は過去最高を更新。株高に加え景気拡大に伴う需要の上振れへの期待が、相場を押し上げている。

米商品先物取引委員会（CFTC）によると、23日時点でWTIのヘッジファンドなど投機筋による買い越し幅は約71万6千枚。3週連続で増え、半年前の1・7倍になった。ロンドン市場の北海ブレント原油先物も2017年7月から急増し、同2・7倍の水準だ。

その分、利益確定売りが出やすくなっているとの指摘もある。マーケット・リスク・アドバイザリーの新村直弘代表取締役は「米国の利上げで投機筋の資金調達コストが重くなり、いったん手じまい売りが出る可能性がある」とみている。

日産証券の菊川弘之主席アナリストは「暖房油の需要ピークが過ぎガソリン消費が増える前の端境期に、持ち高調整の売りを警戒する必要がある」と分析。株高調整が波及するとの懸念もある。

米欧市場の原油先物は14年12月以来の高値圏にある。石油輸出国機構（OPEC）の協調減産で過剰在庫の取り崩しが進む

なか、需要増の観測や産油国を巡る地政学リスクへの警戒が支えになっている。

生乳流通改革の試金石に

名製菓会社が乳製品用の生乳確保で相談に来ることもある」という。14年ごろから

通り安定した指定団体経由の取引を選ぶだろう」とみる。雪印メグミルク酪農部

産は細ってきた。消費者の牛乳離れやデフレで生乳価格が下がり、経営難によ

米国産LPG2割下落

スポット、1月上旬比

米国産の液化石油ガス（LPG）の価格が下落している。指標とされるテキサス州のモントベルビュー地区のスポット（随時契約）価格は1月上旬に比べ2割安い。原料となる原油価格は底堅いものの、米国で気温低下に伴う需要が一巡した。

米国産LPGの価格は足元で1ガロン0・82ドル前後と直近高値の1月上旬に比べ17%安い。「寒さが一服し需要のピークを過ぎ、供給不足への懸念が後退した」（国内LPG元売り）との声が出ている。

日本のLPG元売りの多くは米国産のスポット価格の月間平均値を卸値の指標に使う。米国産は中東産と市場で競合する。サウジアラビアの供給

店頭サーチ

ソウル行き航空券

韓国ソウル行き航空券が高い。旅行価格比較サイト「トラベルコ」を運営するオープンドアによると、同サイトに掲載する2月9日の成田―仁川便の片道価格は、前年同時期と比べて2割上昇している。9日は3連休前の金曜日。「上がり幅はほかの3連休前と同程度」（格安国際航空券を販売するエアプラス＝東京・港）という。

3連休前2～4割高

エアプラスの1月下旬時点、成田―仁川便の往復価格は3万2000円（諸経費・燃油特別付加運賃別）。

連休を控え人気が高い
（トラベルコのサイト）

羽田―金浦便は同3万9000円で3～4割高い。

9日は平昌冬季五輪の開会式と重なる。日並びの良さに大イベントが重なったがオープンドアのサイト運営担当者は「五輪の特需はあまり感じない」と話す。

2020年東京五輪・パラリンピック関係者の視察や観戦ツアー向けは旅行会社がチャーター便を手配しているとみられる。JTBは「法人・個人合わせた予約はソチ五輪の4倍」と話している。

インジウム

月比16%高

価格　春節休暇控え

た。高値の売却目的で投機筋が在庫を放出したことで、スポット価格は2017年12月に下落していた。

インジウムは液晶パネルに透明な電極膜を形成するITO（酸化インジ

ドバイ原油反発

原油でアジア市場の指標となる中東産ドバイ原油のスポット価格は29日、反発した。取引の中心となる3月渡しは1バ67・60ドル前後と、前週末に比べ0・20ドル高い。ニューヨーク市場の原油先物が日本時間29日夕の時間外取引で底堅く推移したのを映した。

大手である国営石油会社サウジアラムコは、米国産の動向を参考に日本への輸出価格を決めるとされる。

米国産LPGの値下がりは、1月末に発表を控える2月積みの中東産価格の下げ圧力になりそうだ。

金現物（東京商品取引所、

（相対取引、純度99.99%以上、1グラムあたり円、△は上げ、▲は下げ

	終値	前
100グラム	4,760	
1キロ	4,740	